

しおかぜ

～第30号～

2022.6

基本理念

病める人とともに、和と向上心をもって、
総合的かつ継続的な地域医療の実現をめざします。

【目次】～CONTENTS～

- ◇マイナンバーカードの健康保険証利用について
・・・・・・・・P1～P2
- ◇ご存知ですか？病気の知識・・・・・・・・P3～P4
- ◇新任医師・新入職職員紹介・・・・・・・・P4～P6
- ◇池田病院からの応援メッセージ・・・・・・・・P6
- ◇イベント～病院の話題～・・・・・・・・P7

基本方針

1. 垂水市の中核病院として病診連携を充実し、地域に必要な救急医療から在宅医療まで24時間体制で提供します。
2. 垂水市の地域包括ケアの拠点として、保健・医療・介護・福祉を連携し、住民が安心して住み続けられるまちづくりに貢献します。
3. 鹿児島へのき地医療を支援するとともに、感染症および災害発生時には地域の拠点病院としての役割を果たします。
4. 患者の人権とプライバシーを尊重し、多職種が連携した患者中心のチーム医療に努めます。
5. 職員ならびに地域の医療従事者の教育に努め、医療の質を高めるとともに、鹿児島の医療人育成に貢献します。
6. 病院を健全経営し、地域住民に安定した医療を継続的に提供できるように努力します。

マイナンバーカードの健康保険証利用について

(1) 健康保険証とし利用することのメリットは？

(メリット 1)

- ・医療機関での受付が簡単

顔認証付きカードリーダーで受付が自動化され、本人確認と保険資格の確認が一度に実現されます。

(メリット 2)

- ・正確なデータに基づく診療・薬の処方が可能

本人が同意すれば、過去の薬や特定健診等のデータを医師・薬剤師と共有したうえで診療・薬の処方がされることにより、より良い医療につながりお薬手帳も不要になります。

(メリット 3)

- ・手続きなしで限度額を超える一時的な支払が不要

限度額適用認定証がなくても高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されます。

(メリット 4)

- ・特定健診、服薬履歴が閲覧できる

マイナポータル（オンラインでの行政手続や行政からのお知らせなどが確認できる自分専用サイト）で特定健診や薬の情報を閲覧できます。

(メリット 5)

- ・確定申告の医療費控除が簡単になる

マイナポータルを通じた医療費通知情報の自動入力で、確定申告の医療費控除が簡単にできます。

(メリット 6)

- ・健康保険証としてずっと使える

就職、転職、引越をしても、紙の健康保険証の発行（申請をして 2 週間程度、無保険状態となる）を待たずに、保険者の手続きが完了次第、医療機関・薬局を利用できます。

(2) 利用申し込み方法は？

マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、事前の登録が必要です。マイナポータルやセブン銀行 ATM、医療機関・薬局の顔認証付きカードリーダーで申し込みできます。

(3) 全ての医療機関で使えますか？

令和 3 年 10 月 20 日から本格的に運用が開始され、少しずつオンライン資格確認が導入されている医療機関が増えてきています。国は令和 5 年 3 月末を目標に全ての医療機関で使えるように導入を目指していますが、現時点では使える医療機関は限られています。厚生労働省のホームページ

に、マイナンバーカードが健康保険証として使える医療機関の一覧を掲載しています。また、使用できる医療機関にはポスター等を掲示しています。

(4) マイナンバーカードを忘れた場合は？

健康保険証を持参している場合は、健康保険証をご提示ください。健康保険証も持参していない場合は、現行の健康保険証を忘れた場合の取り扱いと同様になります。

(5) 保険者が変わった場合の手続きは必要ですか？

従来通り、保険者への異動届は必要になります。

(6) 具体的な受付方法は？

- 顔認証付きカードリーダーの場合は、顔認証（カードのICチップ内の写真データと窓口で撮影した顔を比較）又は患者が4桁の暗証番号を入力により、本人確認を行います（窓口職員の目視も可）。
- 汎用カードリーダーの場合は、患者が4桁の暗証番号を入力又は窓口職員の目視により本人確認を行います。

案内ポスター



顔認証付きカードリーダー
ICチップから顔写真データを読み取り、その「顔写真データ」と窓口で撮影した「本人の顔写真」と照合して、本人確認を行うことができるカードリーダーです。

参考資料

厚生労働省：マイナンバーカード特設サイト
デジタル庁：マイナポータルについて

ご存知ですか？病気の知識 ～肺炎について～

1.肺炎とは？

肺炎とは、気道を通して侵入した細菌やウイルスなどの病原体が肺内で増殖し、炎症が引き起こされた状態です。肺炎は呼吸器の病気の中でも比較的よく見られます。日本の死亡原因の第5位（2019年）といわれていますが、その要因は人口の高齢化による高齢者肺炎の増加と、これによる死亡者の増加です。

肺炎はどこでかかったかによって市中肺炎と院内肺炎に大きく分けられます。市中肺炎は自宅など日常生活の中で発症した肺炎、院内肺炎は病院に入院後48時間以降に発症した肺炎を意味します。また日本では、市中肺炎をさらに「細菌性肺炎」と「非定型肺炎」に分けて考えることを重要視しています。これは、症状や身体所見、検査所見からある程度見分けることが可能で、治療に使用する薬が若干異なるためです。

病原体として、市中肺炎の原因となる頻度が高い微生物は、肺炎球菌、インフルエンザ菌、肺炎マイコプラズマ、肺炎クラミジアなどです。肺炎球菌とインフルエンザ菌は先に述べた細菌性肺炎の原因となる病原体で、肺炎マイコプラズマと肺炎クラミジアは非定型肺炎の原因となる病原体です。また頻度は少ないですが、ウイルスも原因となる場合があります。院内肺炎では、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）や緑膿菌などの抗菌薬が効きにくい細菌が原因になることが多くなります。肺炎球菌、インフルエンザウイルス、レジオネラによる肺炎は重症化する場合があることが知られています。また、免疫が抑制された状態にあると、ニューモシスチス・ジロベチ（真菌の一種）やサイトメガロウイルスといった病原体でも肺炎になることがあります。

2.肺炎の症状は？

症状は多彩ですが、発熱、咳、膿性痰が主な症状です。肺から胸膜まで炎症が広がることにより胸痛が生じる場合もあります。

重症になると呼吸が困難になったり、意識が悪くなったりすることがあります。また病原体によっては、筋肉痛や腹痛・下痢といった一見肺炎とは関連がなさそうな症状が出たり、高齢者では典型的な症状が目立たず、食欲低下や全身倦怠感などが主な症状となったりする場合があるため注意が必要です。

非定型肺炎は、頑固な咳がある、痰がない、基礎疾患がないあるいは軽い、年齢が若い、血液検査で白血球数が上がらないなどが特徴とされています。肺炎が治った後も、咳はしばらく続く場合があります。これを感染後咳嗽といいます。



3.肺炎の検査・診断は？

肺炎の診断は、症状、身体所見、血液検査、胸部X線写真、胸部CTなどを総合して行います。血液検査では体内で炎症が起こったときに上昇する白血球やCRPの値を参考にします。胸部X線写真や胸部CTでは、肺炎はスリガラス影や浸潤影と呼ばれる肺内の白い影として写ります。また、病原体を検索するために尿や血液、咽頭ぬぐい液の抗原・抗体を調べたり、痰の中の菌を培養して調べたりすることも治療のうえで重要となります。

4.肺炎の治療は？

原因により異なりますが、細菌が原因と考えられれば抗菌薬を用いて治療します。ウイルスが原因であれば抗ウイルス剤を用いる場合もあります。検査で病原体が特定できれば、これに応じた薬が使用されます。軽症で全身状態がよければ、通院で内服薬を飲みながら治療できますが、高齢者の場合や脱水がある、食事が取れない、体内の酸素の数値が低い、意識が悪い、血圧が低いといった中等症・重症の肺炎が疑われる場合は入院し注射薬を使う必要があります。呼吸不全が強くなると、酸素の吸入や人工呼吸器の装着も必要になる場合もあります。

4.肺炎を予防するには？

予防という点では、特に高齢者ではインフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種が重要です。インフルエンザワクチンが重要な理由は、インフルエンザ感染により、気道の粘膜が荒れて細菌などの病原体が侵入しやすい状態になり、肺炎を合併することがあるためです。肺炎球菌ワクチンは、肺炎の原因として頻度が高い肺炎球菌による肺炎を防ぐ効果が期待できます。しかし、肺炎を完全に予防できるわけではないため注意が必要です。また肺炎の原因として誤嚥の関与がある場合には、食事中や食後に座位を保つことや、口腔内を清潔に保つ、誤嚥を悪化させる可能性がある睡眠薬や抗うつ剤などの薬を減量・中止するといった予防法があります。

新任医師・新入職職員紹介



内科

いわたに のりこ
岩谷 徳子

4月から勤務しています。垂水中央病院に勤務するのは2度目となりますが、地域の皆様やスタッフの温かさをとても難しく感じています。至らぬ点多々ありますが、皆様に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



眼科

もとせ やすよし
本瀬 泰良

2022年4月より勤務させて頂いております。以前も勤務させて頂いており、その際には大変お世話になりました。まだ不慣れなことが多いですが、少しでも皆様のお役に立てるよう努めて参りますので、よろしくお願い致します。



内科

みやざと ちひろ
宮里 千尋

2022年4月より勤務させて頂いております。研修医の頃にも半月間お世話になりました。不慣れな事も多くご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

リハビリ室／理学療法士
金気 雄哉



4月からお世話になっております。至らない点が多いと思いますが、早くチーム医療の一員として貢献できるよう頑張ります。

リハビリ室／理学療法士
山添 桃菜



4月より入職させていただきました。まだまだ未熟ですが、日々勉強に励んでいきます。よろしくお願いいたします。

リハビリ室／理学療法士
持留 魁人



4月より入職させて頂きました。まだまだ未熟で至らない点も多いですが、少しでも患者さんや垂水市の市民の皆様に貢献できるよう一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。

リハビリ室／作業療法士
坂下 楓佳



4月よりお世話になっております。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。

リハビリ室／作業療法士
上諸 倫太郎



4月よりお世話になります。私は病める人とともに、和と向上心をもって総合的かつ継続的な地域医療の実現をめざします。

リハビリ室／作業療法士
西久保 響



4月より入職させて頂きました。未熟で至らない点も多いですが、日々勉強して頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

4階病棟／看護師
礒脇 千夏



4月より入職させて頂きました。日々勉強し患者さんの笑顔につながる看護を提供できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

4階病棟／看護師
小谷 愛永



4月より入職させて頂きました。至らない点もあると思いますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

4階病棟／看護師
水流 慎哉



4月より入職させて頂きました。未熟で至らない点が多いですが、日々頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。

3 階病棟／看護師
甲斐 菜留実



4 月からお世話になっております。看護師 1 年目で分からない事も多いですが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

3 階病棟／看護師
栗野 優希



4 月より入職させて頂きました。日々勉強し、少しでも患者の皆様を笑顔にできる看護師になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

3 階病棟／看護師
柴山 琴音



4 月よりお世話になっております。至らない点多々あると思いますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします

事務部／医師事務作業補助者
平野 利奈



4 月より入職させて頂きました。まだまだ分からないことばかりですが日々勉強して頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

事務部／医師事務作業補助者
鶴丸 琉月



4 月から入職しました。これから精一杯頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

池田病院からの応援メッセージ

2022 年 3 月 9 日に当院職員 1 名と入院患者様 1 名が新型コロナウイルス感染症に罹患していることが判明し、3 月 12 日～22 日に新たに入院患者様 8 名及び透析患者様 2 名、職員 4 名の感染が確認されました。この間、患者の皆様やご家族、地域の医療機関をはじめとする関係機関の皆様には、多大なご心配とご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。

今回、鹿屋市の池田病院から当院職員へ「コロナ対応で大変だと思いますが身体に気を付けてください」「同じ大隅半島の医療機関の仲間として応援しています」等の励ましのメッセージを多数頂きました。この度は、温かいお心遣い誠にありがとうございました。



イベント ～病院の話題～

春季新人研修



4月15日に、2022年度4月に入職した職員を対象とした新人研修を森の駅たるみずで行いました。この研修には新入職者13名が参加しました。「就業規則と労務」「医療保険」「応急処置・BLS」「社会人とは（グループワーク）」「感染について」「医療安全」等、様々なテーマについて担当職員が講義を行いました。講義やグループワークを通して、医療人としての基本的な知識の習得や社会人としての心構えについて学ぶことができ、とても有意義な研修会となりました。

消防避難訓練



5月24日に消防避難訓練を実施しました。避難訓練は、夜間に病棟で火災が発生し初期消火に失敗したとの想定で実施。患者や付き添い役となった職員を屋外に迅速に避難させました。避難訓練の後は、6名の職員が初期消火の基本である消火器による消火訓練に参加しました。今回の訓練を通して、日頃から火災を出さないことに努め、万が一、火災が発生した際には、適切な初期消火や避難誘導ができるよう、防災への意識を高めることが大切だと再認識するよい機会となりました。

予約受付時間のご案内

月 ～ 金曜日	土曜日
14:00～17:00	8:30～12:30

※当院では全診療科予約制です。
 ※当日の診療に関するご相談や当日の予約時間変更に関するご連絡は、8:30から受付けています。

垂水市立医療センター 垂水中央病院

〒891-2124

鹿児島県垂水市錦江町1番地140

TEL: 0994-32-5211 FAX: 0994-32-5722 (総務課)

0994-32-5230 (医事課)

【E-mail】 tarumizuhp@tarumizumh.jp

【URL】 <http://tarumizumh.jp>